

AJ

AQUA
JOURNAL

vol.
344

Aqua Design Amano
Information magazine
Jun. 2024 100YEN



BELOW WATER

OLIVER LUCANUS — Photo & Text

オリバー・ルカヌスが贈る水中世界

Vol.2

レッドテトラの群れ

ジュルミリム川の水流の速い浅瀬で出会ったレッドテトラの群れ。この小さなカラシンの群れは、タライロン、ホーリー、パイクシクリッド、アイスピットシクリッドなどの捕食魚を避けるために水草の密生した場所に棲息している。

[撮影地]
アラグアイア川上流支流
ジュルミリム川

[生物]
Hypseobrycon amandae

OLIVER LUCANUS

オリバー・ルカヌス (54)

ドイツ、バイエルン州生まれ。30年以上に渡り、世界中で魚の棲息環境を撮影し続けている。『Xingu Below Water』など写真集を発刊。カナダ、モントリオール在住。IEPA会員。



CREATOR WORKS

Naru Uchida

NATURE AQUARIUM W1,800 x D600 x H600 (mm)



©AQUA DESIGN AMANO

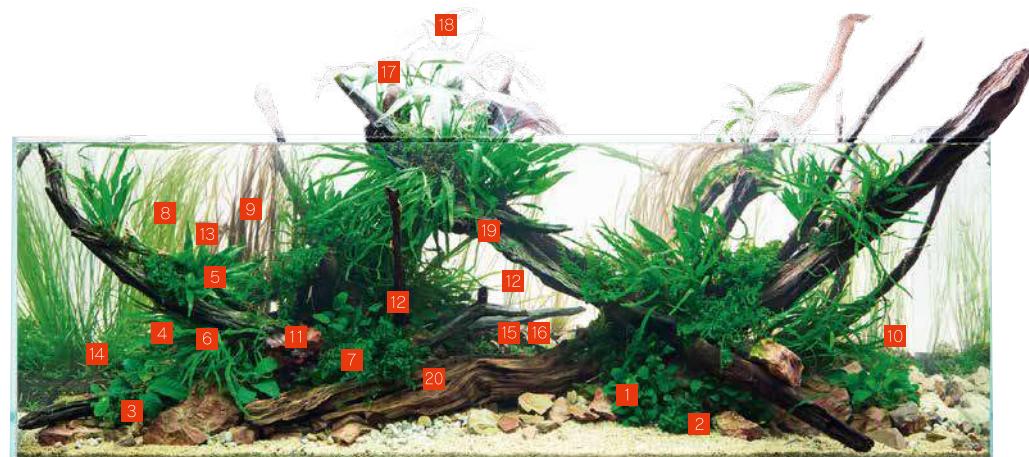
【森の交差点】この水景は長期維持を前提とした魚たちが安らげる環境づくりをテーマにしている。言わばネイチャーアクアリウムの原点に立ち返ったレイアウト制作となった。魚たちは左右に活発に泳ぎ回ったり、ときには流木のアーチ下の空間に集まったりと、その意図した通りの様子を見たとき魚と気持ちが通じ合えたような感覚を覚えた。

CREATOR WORKS

Naru Uchida
NATURE AQUARIUM W1,800 x D600 x H600 (mm)



植栽



2022年12月1日撮影

完成



2023年3月23日撮影

TITLE 森の交差点

DATA

制作日 2022年11月30日
撮影日 2023年3月23日
制作 内田成(ADA SUKEI CREATOR)
水槽 キューブガーデン W1,800×D600×H600 (mm)
照明 ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-2400(バイオリオG)
素材 床 ホーンウッド、深石
底床 アクアソイル・アマゾニア Ver.II、パワーサンド・アドバンスL、
パクター100、クリアスパー、トルマリンBC、トロピカルリバー

C O 2 サンド、コロラドサンド、玉砂利
パレングラス・ビートル 500、CO₂ツイストカウンターで
1秒に5滴(タワー使用)
A I R リリィパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
ニュートラルK、グリーンブライティ・ミネラル、
グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
1週間に1度1/3
換水 水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

水草

- 1 アヌビアス・ナナ
- 2 アヌビアス・ナナ・ブチ(BIO)※
- 3 アヌビアス・コーヒーフolia
- 4 アヌビアス・バリテリー
- 5 ミクロソラム・ブテロブス
- 6 ミクロソラム・ナローリーフ
- 7 ボルビティス・ヒュテロツテ
- 8 ブリクサ・アウベルティ「レッド」
- 9 ダイガーロータスグリーン
- 10 ダイガーロータスレッド
- 11 タイガーロータスレッド
- 12 ノーチャルフェザーダスター
- 13 ルドヴィジア・イルトリコロール
- 14 コクテラ sp. フラワー
- 15 クリプトコリネ・アクセルロディ(BIO)※

Anubias barteri var. nana
Anubias barteri var. nana 'Petite'
Anubias barteri 'Coffeefolia'
Anubias barteri var. barteri
Microserum pteropus
Microserum sp. 'Narrow Leaf'
Bolbitis heudelotii
Blyxa auberti
Blyxa auberti 'Red'
Nymphaea lotus 'Green'
Nymphaea lotus 'Red'
Ericaulon sp.'Social Feather Duster'
Ludwigia eel tricolor
Rotala sp.
Cryptocoryne axelrodi

魚種

- 16 クリプトコリネ・ウェンティ・グリーン・ゴコウ(BIO)※
- 17 アマサキカズラ
- 18 リュウノヒゲ
- 19 ワイローモス(モスバッグ)※
- 20 南米ウイローモス

Cryptocoryne wendtii 'Green Gecko'
Scindapsus sp.
Ophiopogon japonicus

Taxiphyllum barbieri
Vesicularia dubyana

Phenacogrammus caudomaculatus
Phenacogrammus aurantiacus

Alestropetersus smykalai
Badis badis

Crossochelus oblongus
Otocinclus sp.

Caridina multidentata

©AQUA DESIGN AMANO

※はADA生体製品ラインナップです。

SUIKEI CREATOR INTERVIEW

内田 成 Naru Uchida

魚たちの気持ちになって水景づくりを考える

—— まずは水景コンセプトから聞かせください。

今回の作品は「森の交差点」というタイトルで、中央の流木が交差している所がちょうどトンネルのようになっていて、いろいろな種類の魚たちがその空間を潜り抜けたりする様子が観察でき、この水景の一つの見所になっています。構図の様子からわかるように直線状の枝ぶりのホーンウッドを主に使い、放射状に広がる枝が交差するように組んでいます。そして交点となる部分にシダを配植してます。こうすることで密生部分と空間部分が明確になり、魚たちの遊泳空間が生まれます。またそれが水景としても程よい“抜け感”となり、視点を水景奥へと誘います。今回は特に自身の記憶などからではなく、流木や石など素材からインスピレーションを受けて制作しました。そして最終的に思い描いていた完成イメージは、先ほど言った抜けの部分やヤマサキカズラやシダが大きく生長することによって生じる陰の部分などが魚たちの安らぎの場になればということでした。この水槽は奥行きが600mmと広いので、流木のトンネルを潜って前後の空間を魚たちが行き交う様子を想像しながらレイアウトを制作しました。「森の交差点」というタイトルの通りアフリカンムーンテトラ、ゴールデンコンゴテトラ、サファイアコンゴテトラの3種類の魚たちがそれぞれに遊泳し、交差点となる中央の空間では賑やかに行き交うように泳いでくれたらいいなとか、とにかく魚の泳ぐ姿を終始思い浮かべながらの制作でした。

—— 構図の段階では流木の力強さが印象的に思えますが、その意図はどうでしょうか？

水景の抜け感にもなる魚の遊泳スペースの確保を意識して構図を組んだのですが、水景を長期維持することも考慮して、しっかりととした構図を組もうと考えました。その点では天野宅に設置されている4m水槽での流木の組み方・骨格構成を参考にしました。あの水景は20年以上も維持されているので絶対正解だろうと（笑）。長期維持されている水景は、どういう構成なのか改めて考えて、初心に戻って勉強する目での水景を見ると今更ながらに天野尚の管理面を考慮したレイアウト構成の凄さを痛感する想いでした。

—— 長期維持を前提に水草の植栽はどのように気をつけたのでしょうか？

私は長期維持大切なのは空間だと思っています。水草は生長していくにつれてスペー

スが埋まり、光が十分に取り込めなくなったり種類は衰退が始まっています。景観を維持するためには空間を確保し水草に効率よく光を届ける必要があります。それに加え植栽の構成も重要です。たとえばミクロソラムなどのシダが大株になってしまふと、そのままの下草などは徒長してしまう種類もあるので、シダの下には陰生植物を植栽するなど、光と植物の性質を考慮して植栽構成を考えました。植栽プランは前方から後方へかけて平面的に考えがちですが、上下の位置関係も非常に大切です。また手前の空間は水草を植えずに化粧砂を敷きましたが、これによってスイレンの浮葉やシダの葉によって光が遮られたとしても水底が明るい印象に保てる効果と魚の遊泳スペースとして空間が長期維持できるようになっています。なお水草が繁茂してくると水の淀みができ藍藻が発生しやすくなるので、通水性なども配慮しレイアウトを構成しています。長期維持ではこうした配慮も大切であり、レイアウト構成なども4m水槽を参考にしました。

構図



2022年11月30日撮影

—— 活着性水草も多用していますが注意した点とかはありますか？

構図が作為的になってしまっていたので、流木同士の交点に活着性水草を配置しました。交点が活着性水草によって隠れ、作為的な部分が和らぎ自然な感じになればと思いました。流木の根元の部分も活着性水草で固めましたが、アヌビアスなどは生長点の向きに注意しどの方向に生長してもらいたいか考えて配置することが大切です。またここで葉の大きさの異なる2種類のアヌビアスを使い自然感を演出しています。

—— 次に底床についてですが、化粧砂を選択した理由を聞かせください。

これは遊泳空間を確保するためにソイルではなく化粧砂を選択しました。また渓石との色調バランスを取るためにトロピカルリバーサンドにコロラドサンドを混ぜて色調整をしてます。

—— では、あえて渓石も色味を意識して選んでるのでしょうか？ ピンクっぽいものは選ばないとか。

特に色では判断してなかったのですが、どちらかと言えば赤味があるのも選んでます。水中で時間が経つにつれて自然と藻類が付着し色味が変わってくるので、化粧砂と馴染むようにしました。本来であれば石に付着した藻類は擦ってメンテナンスをするのですが、この水景ではあえて擦らないときもあり、空間の流木のアーチ部分と石と化粧砂の色合いにも注意し管理を行いました。水景の趣として時間が生む石の風合いもあると思うので、石に薄く付着する藻類は必ずしもきれいに擦らなければいけないというわけではないと思います。擦り過ぎてしまうと他との風合いのバランスが崩れてしまいかえって違和感を生み出すパターンもあるので、水景の演出部分では大事な管理ポイントだと思います。

—— その他、管理などで気を付けた点はどこでどうでしょうか？

管理し過ぎないことです。先の話にも通じるのですが、手を入れ過ぎると逆に作為的になり過ぎて不自然になってしまいます。ときには水草の生長に任せることも必要でこの見極めが難しいところです。特にこのタイプの水景では整え過ぎては駄目で、ADAではチームで水景を管理するためこの曖昧な感覚を共有する難しさもありましたね。

—— 魚は個性的な魚種が選ばれていますが、その選択理由などを聞かせください。

今回は流木の印象というかインパクトが強いので、作品として撮影したときに負けないようにある程度大きさがあって体形のシリエットがはっきり見える魚種がいいかなと考えました。小型魚を群泳させるパターンもありますが、左右に流れるように泳ぐよりは交差点となる中央の空間で戯れて泳ぐ雰囲気がコンセプトに合っているなと思いました。最近は特に魚たちの居心地を意識するようになりましたが、それもADAの水景クリエイターとして大事な感覚だと思っています。

—— 今回はそういった魚の棲息環境がポイントになる感じですね。

そうですね。ただ、本当に自然の棲息環境のような水中景観を再現したとしてもそれはアクアリウムとしてはおそらく退屈であり、自然を超える美しい景観の中で魚たちが自然の水域で泳いでいる錯覚してしまうような水景の創造こそがネイチャーアクアリウムの目指すべき方向だと思っています。

そういった意味においては、今回の作品制作はネイチャーアクアリウムの本質や理念を再認識するよい機会になりました。本誌では完成水景として紹介させていただきましたが、本当は次期早々であと3年、5年とか維持していくとまた違った表情を見せてくれたと思います。

—— 今回の作品でお気に入りの部分はありますか？

まず魚が心地よく泳げる環境づくりという点では（たぶん）成功したかなと思います。タイトル通り交差点となる空間で時折魚たちが集まって遊泳してくれている様子を観賞できる点がいいですね。あとは水上のヤマサキカズラの勢いに対してミクロソラム2種のボリューム感がマッチしたことでも全体的によくまとまった要因であり、天野宅の4m水槽に雰囲気も似てきて気に入ってます。実はこのレイアウト制作の後にAOAO SAPPOROのレイアウト制作が控えていたのですが、この水景の制作経験がAOAO SAPPOROでの新たな創作活動にいい影響を与えてくれた点も良かったですね。



上：自然感を演出するため、活着性水草の配置場所に気を使った。

下：渓石と色味が合うように化粧砂を配合。土留めとして石の隙間もしっかりと化粧砂で埋めた。

MINI NA

#02

Mini NATURE AQUARIUM
MAINTENANCE GUIDE

DATA

撮影日 2024年03月29日
水槽 キューブガーデン W300×D300×H300(mm)
照明 ソルスタンRGB(1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルターES-150 Ver.2(バイオリオ G)
素材 霊山石SS.XXS.アクアグラベル.KUMU SA-07 ブルックサンク
底床 アケイイルアマニアVer.2./ワーサンド・アドバンスS./クラー100.クリアスパー.トルマリンBC
CO₂ バレングラス・TYPE3. CO₂ ガラスカウンターで1秒に1滴(タワー使用)
AIR リリィパイプ・スピニ P-1によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 ブライティ.グリーンブライティ・ミネラル.グリーンブライティ・アイアン.グリーンブライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/3
水質 水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L



水草の美しさは 清らかな水流から生まれる

今回紹介するW300×D300×H300 (mm) 水槽は通称30キューブと呼ばれ、人気の高い小型水槽である。小型とは言え水量は25L以上になるので、ろ過システムは簡易的なものよりはろ過能力の優れたものを選んだ方がその後の管理面を考慮すると賢明な選択と言える。ここではスーパージェットフィルター ES-150 Ver.2を使用しているが、ES-150 Ver.2は流量3.5L/minで1.5Lのろ材が充填できるため小型水槽のろ過システムとしては高いろ過能力を発揮し30

キューブでも十分対応できる。出水についてはつくりたい水流の強さなどによっていくつかの選択があるが、この水景では独自のループ形状の出水口によって緩和された水流が生じるリリィパイプ・スピニP-1を使用している。そんなろ過システムから生み出される柔らかな水流に揺れるヒロハノエビモの様子は、水草ならではの眺めであり日本産水草の美しさを再認識させてくれるようだった。葉縁が波打ち透明感のある葉は、清らかな水流から生み出されたかのようにも見える。そんな素朴で親しみやすい感じのヒロハノエビモに対してトゥッカーノテトラという選択はいさかブルジョワ的であるが、この水槽システムを一点豪華主義とするならば憧れを満たす魚種の選択にもなるのではないだろうか。



ループ形状の出水口が高いろ過能力を犠牲にすることなく水流を緩和する。



植物 ①ブリクサショートリーク ②ヘアーグラス(BIO)※
③ヒロハノエビモ ④エキンドルス・テネルス・マディ
ラ ⑤ウォーターフェザ ⑥ワローーモス
魚種 トゥッカーノテトラ/サイアミーズフライングウォックス
/オトシンクルス/ヤマトヌマエビ
※はADA生体製品ラインナップです。

CREATOR WORKS

Kota Iwahori

PALUDARIUM W600 x D300 x H450 (mm)

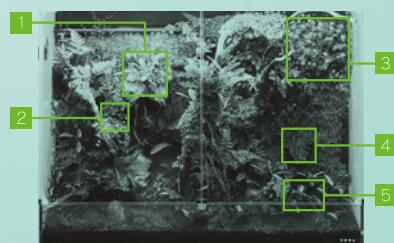


〔霧む森の花々〕

南米アンデス山脈にある雲霧林に自生する多様な小型着生ランに思いを馳せ、W600mmサイズのケースが手狭にならないように立体感や空間を活かした構図を組んだ。サーキュレーションファン40とミストフローを効果的に作動させ、エクアドルの雲霧林ながらの環境を演出。こうした自生地のような雰囲気の中で小さなランが開花してくれると喜びもひとしおだった。

D A T A

撮影日	2024年4月16日
制作	岩堀 康太(ADA SUKEI CREATOR)
水槽	システムパルダ 600
照明	パルダライト 600(1日8時間点灯)
底床	ジャングルソイル、ジャングルベース
給水	ミストフローボックスに2~3週間に1度
排水	高吸水スポンジで1週間に1度程度
湿度管理	ミストフローで毎時20分間
時間管理	サーキュレーションファン 40で毎時5分間
時間管理	パワーコード S-70



MAIN PLANTS

- 1 ブレウタリス sp.
- 2 トリセテラ・アンドレッタエ
- 3 オーストラリアン・ドワーフヒドロコティレ
- 4 セラギネラ・エリスロプス
- 5 ピニア・シルバーツリー

New Style Indoor Green

Style
02

DOOAで提案するガラスケースで主に熱帯植物の育成を楽しむスタイルをさまざまな作例とともに紹介。日々の生活の楽しみとして取り入れてみては。



DATA

CASE
GLASS POT SHIZUKU

PLANT
クリプトコリネ・フスカ

SUBSTRATE
ジャングルソイル／ジャングルベース

LIGHTING
マグネットライトG 6段階中1~2

MATERIAL
KUMU ホーンウッドチップ

クリプトコリネの水上栽培の醍醐味は、サトイモ科特有の仏炎苞の観賞だろう。C.フスカはC.ロンギコウダに似るが、ねじれた仏炎苞を確認することで区別できる。



DATA

CASE
GLASS POT SHIZUKU

PLANT
クリプトコリネ・スワイテシー

LIGHTING
マグネットライトG 6段階中1~2

SUBSTRATE
トロピカルリバーサンド
トロピカルリバーソイル
ジャングルベース

スリランカ産の希少種であるC.スワイテシーは、デコボコの葉やフリルのような葉縁が魅力的。用土はソイルをベースとし、砂利や石を少し混ぜると自生地の雰囲気就近くなる。



DATA

CASE
GLASS POT SHIZUKU

PLANT
クリプトコリネ・グラボウスキー

LIGHTING
マグネットライトG 6段階中1~2

SUBSTRATE
ジャングルソイル
ジャングルベース

黄色い仏炎苞で長いチューブを持つことから本種は、C.コルダータの仲間だとわかる。この仏炎苞は見た目こそきれいだが、開くと臭いを放つ。これも花粉を運ぶ虫を誘引するためという。

KUMU MAKING GUIDE

#02



こだわりのレイアウトを楽しむための化粧素材
「KUMU」。ここでは、それらを用いたレイアウト
のつくり方や実用的なテクニックなどを、順を
追ってわかりやすく解説します。

HOW TO MAKE

01



KUMU
ホーンウッドチップ

MARU 95の幅に合うホーンウッドチップを選ぶ。大きい場合はニッパーなどで大きさを調整する。

02



ホーンウッドチップを2本束ねてテラテープで縛る。

03



ジャングルラン
レバンテス・カロディクティオン L



好きな着生ランを水苔と一緒にテララインで固定する。
L.カロディクティオンは花だけでなく葉模様も楽しめる。

04



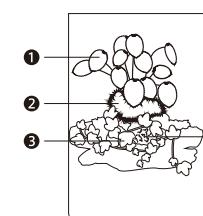
固定した着生ランの上から再びテラテープを巻き、その上
に苔や着生植物をテララインで固定していく。

05



KUMU
ヘーゼルグラベル

ヘーゼルグラベルなどの砂利素材を敷く。



DATA

- ガラスポット MARU 95
- KUMU ホーンウッドチップ、
KUMU ヘーゼルグラベル
- 植物
- レバンテス・カロディクティオン
- ヤマゴケ ●フィカス・ブミラ・ク
エルシフォリア ●プレミアムモス

06



着生ランを付けたホーンウッドチップをガラスポットに入れ、湿度を保つため底面から1cmほど水を注水し完成。

IAPLC

CREATOR'S

FILE #13

Mario Schätz



PROFILE

マリオ・シェツツ

Mario Schätz

年齢 / 45歳

国名 / オーストリア

職業 / 舞台技術者

アクアリウム歴 / 11年

趣味 / フライフィッシング

過去の受賞歴 / なし

**最も大切なことは、
水草レイアウトを常に楽しみ、
心と感情を共にすること**

Q 水草レイアウトを始めた
きっかけは何ですか？

幼少期、父親がシクリッドを入れた水槽を常に持っていたので、父親の影響だと思います。

Q 水草レイアウトのどのようなところに
魅力を感じますか？

水草レイアウトは素敵な自然の世界を家に持ち込める素晴らしい方法だと思います。私は小さな池や小川、その周りの植物や野生生物にいつも夢中になってしまいます。

Q 今回のレイアウトのテーマやモチーフ、
アイデアはどこから得ましたか？

フライフィッシングをするときに新しいレイアウトのアイデアを集めています。私はよく小川や川を歩いており、美しい自然の造形を探しています。

Q レイアウトをする上でこだわりの
グッズはありますか？

自然の中でお気に入りの流木や石を見つけ、レイアウトに使用しています。

Q レイアウトを制作していく過程で、
苦労した点や工夫した点はありますか？

石組に植栽した最初の数カ月は、親石の陰になる水草がうまく育たないことが多々ありました。その箇所に小さい石を数個置くことにし、この問題を解決しました。

Q 水草や魚種の選定する上での
ポイントについて教えてください。

何よりも私は水草と魚の特別なニーズに注意を払っています。特に石組レイアウトでは、空間で泳ぐことが好きな魚を選ぶことが大切です。ラスピラ・エスペイはこのような



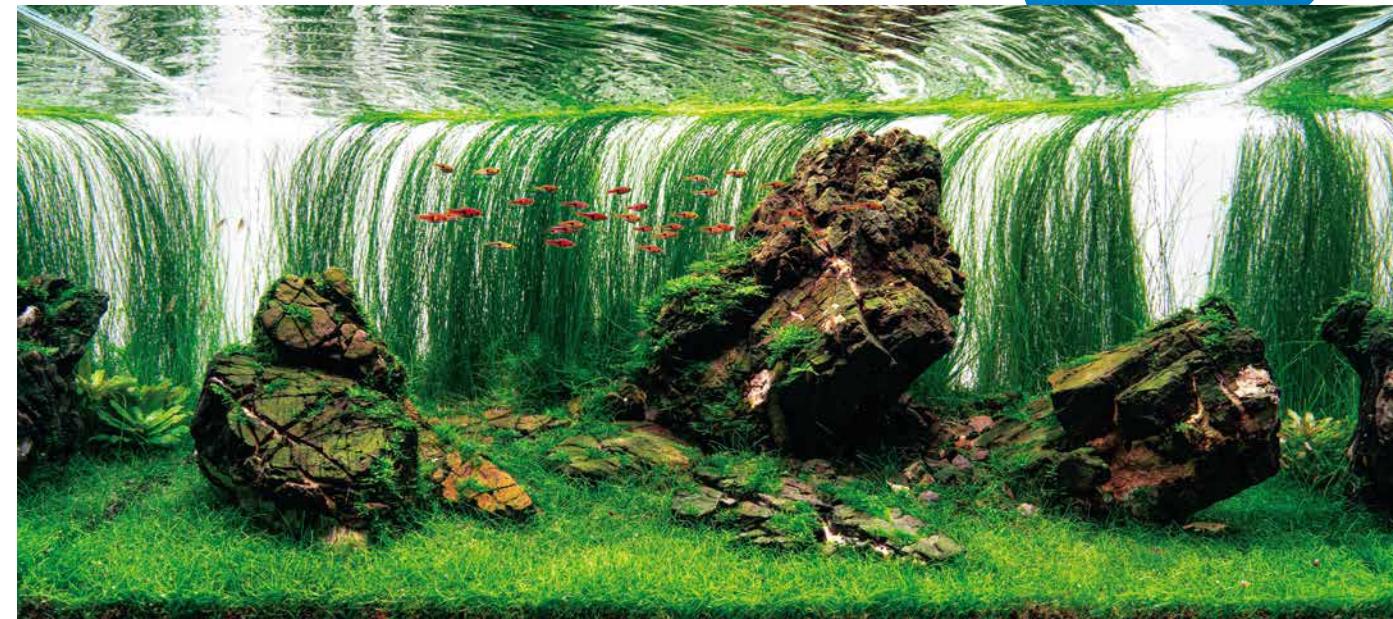
日課となっているメンテナンス作業。



家中に居ながら自然の持つ癒しを楽しむ。

世界トップレベルの水草レイアウトコンテストである「IAPLC」。このクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

マリオ・シェツツさんのSNSアカウント



不变 Aquarium Size W900×D450×H450(mm)

水 草：ショートヘアグラス／ロングヘアグラス 魚 種：ラスピラ・エスペイ

レイアウトに最適な魚だと考えています。

Q レイアウト制作でいつも
心がけていることがありますか？

最初のアイデアから植栽やその後の工程まで制作を楽しむことです。

Q コンテスト入賞の秘訣は
ありますか？

最も大切なことは、この趣味を常に楽しみ、心と感情を共にすることだと思います。

Q IAPLCに応募するきっかけ、また、醍醐味
はどんなところにあると思いますか？

私は友人に説得されてコンテストに参加しました。本来であれば、コンテストは私にとって縁の遠いのですが、世界中のアクアリストとつながることは素晴らしい経験です。

Q アクアリウムクラブに所属している場合は、
その活動内容をお聞かせください。

身近に優良なアクアリウムショップ(Liquid

Nature)がありラッキーでした。ここで定期的に有意義な会合が開かれています。若い方も年上の方も、この素晴らしい我々の趣味に関する意見を交わしています。

Q 世界中の水草愛好家の皆さんに
メッセージをお願いします。

若い世代が母なる大自然と生物を感じるために、水草レイアウトがつながりとなり、情熱的であることが大切です。



左：植栽時の様子。

右：完成時の様子。表情のある石と水草の緑に、ラスピラ・エスペイの鮮やかなオレンジが映える。

CREATOR'S VOICE

VOL.05
Yusuke
Homma

水景クリエイター。それはADA社内における資格であり、多くの若手スタッフの目標にもなっています。こちらでは、現在活躍中の5人の水景クリエイターに趣味や今後の目標などをインタビューし、彼らの人物像に迫っていきます。

Text by Seijiro Chinen

Photograph by Masahumi Iwakato



“
ネイチャーアクアリウムを通して自然環境への興味関心を持つてもらいたい”

水景クリエイター本間裕介。現在はNAC(ネイチャークリエーション部)に所属。今回は、1993年よりADAに勤務し天野尚と長く仕事を共にしてきた本間に天野から学んだことや今後の目標について探ってみようと思う。

「天野尚と初めて出会ったのは私が高校3年生のときでした。当時はまだ天野がアクアリウムショップを経営していたころで、そこで初めてネイチャーアクアリウムに出会い、一瞬で心を奪われ魅了されたのを鮮明に憶えています」そう語る本間は、それをきっかけに天野のショップでアルバイトをはじめ、高校卒業後はそのまま就職することになる。本間は天野の風景撮影の助手としても国内外問わず同行し、寝食を共にするようになった。「当時の天野は大判カメラで風景撮影を行っていました。大判カメラは構造上、ピントを合わせてシャッターを切る際は撮影者がだけしかレンズの向こう側に広がる光景を知りません。そのため、撮影中は天野がどのような角度で風景を撮っているのか私には見当がつきません。しかし、回数を重ねることに、自分が予想していた風景と現像を終えたフィルムの画角が段々と一致してくるようになつて、天野が感動して撮影している風景の奥にある目には見えない

大切なことに気づかされるようになりました。また、天野は植物の知識も豊富で、どのようなコンディションのときに撮影すれば美しく撮れるのかということに長けていました。そういう姿を近くで見ていました。うちに自然環境と植物のつながり、そして尊さを学びました。そう語る本間の目を見ていると、天野への憧れと尊敬の念が伝わってきた。最後に今後の目標について聞いてみた。「私は次世代を担う若い方にネイチャーアクアリウムを通して自然環境への興味関心を持つてもらいたいと考えています」ネイチャーアクアリウムの哲学

A 天野大将のような性格だったという天野。その中にも時折見せる深い優しさに本間は憧れ、師の背中を見ながら自らの見識を深めていった。B 天野から教えてもらい20年来通い続いている。場所変化していくその姿を今もカメラに納め続けている。



Text
Tomoko Kawakami

VOL.05

ADAの体験型コンセプトショップ「ADA LAB」。現在、大阪の「UMEDA店」、北京にある「BEIJING SKP店」に続き、大丸東京店に「TOKYO PRE-STORE」が開店。各店舗の旬な情報を現地スタッフがリレー形式でお届けします。

Report



TOKYO PRE-STORE



TOKYO PRE-STORE
Official Instagram



以前と比べ取り扱う植物の幅も広がり、店内の展示作品もすべてリニューアルしています。

STAFF'S PICK UP



TOKYO PRE-STORE
〒100-6701
東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店 1F
※9月より9Fに移動予定となっています。

展示のネイチャーアクアリウムは毎日多くのお客様が足を止め、観賞いただいております。日々変化し移りゆく水景をお楽しみください。

水草道!

私の時間

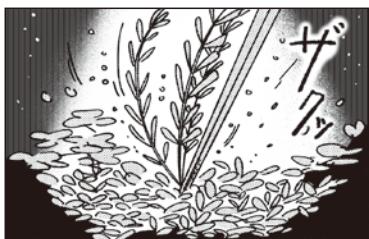
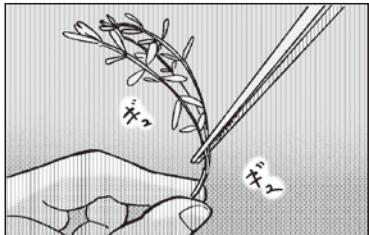


Illustration / Hayase Kato

STAFF CREDIT

Publisher
天野 しのぶ

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 健司／市川 亮／高遠 将史
板橋 広夢／加藤 風世

Editor
松本 隆介／岩堀 康太／知念 政次郎
川上 朋子

Supervisor
大岩 剛

Photo Supervisor
阿部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社 山田写真製版所



NEXT AQUA JOURNAL
JUN. 2024 vol.345
2024年6月10日(月)発売予定



アクアジャーナルの情報は一部
ADAホームページで公開しています。
AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.
©2024 Printed in JAPAN



Stelis rodriegoi
ステリス ロドリゴイ

お花見は、毎年同じ季節に友人と再会する感覚に似ていると思う今日この頃。さまざまな植物に触れていると、自分の概念にない姿形をしている花に出会うことがあります。そんな花の初開花では、未確認生物を前にした「未知との遭遇」に近い感覚を覚えます。このステリス属の一種はつぼみから開花までトランスフォームするフランギングヒューマノイドのようでした。

PLANTS PORTRAIT

Photo & Text / Ryusuke Matsunaga

日々植物の育成に勤しむ松本 隆介の視点で、毎月ひとつ植物を紹介します。

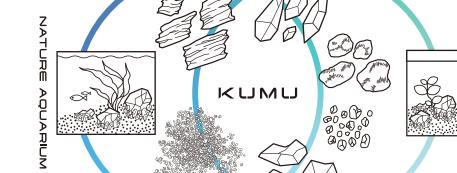
INFORMATION



ADA LAYOUT MATERIALS KUMU

KUMU is an ADA original decorative materials series for Nature Aquarium and paludariums. Combine several items to create scenes of nature. Enjoy layout conception with greater freedom.

自由な発想で組み合わせて楽しむ



「KUMU」は、ネイチャーアクアリウムやパルダリウムのレイアウトに使用する化粧素材です。石や流木、砂、砂利などの24種類のラインナップの中から、好みの素材を組み合わせることで表現の幅が広がります。KUMUは1パックの量は試しやすいよう適量で、素材のカテゴリーごとに ST=石、GR=グラベル、SA=砂、WO=流木とナンバリングしています。各包装はシュリンクや脱気処理を施し、素材が見やすく選びやすいクリーンなパッケージを採用しました。



ラインナップなど
詳細はこちらから

※全国のADA販売特約店でお求めください。



アマゾン回顧録

Text / Tsuyoshi Ohwa

大自然が広がるアマゾン流域。そこで暮らす人々の家を見ると軒先にいくつもの植物が飾られていた。何気ない光景だったが、人が植物を飾るのは縁がないからではないことを物語ついていた。彼らは植物を愛でているのだ(しかもハングイングスタイル)。アマゾンの日常の何気ない一期一会であった。



多彩なケースアレンジができる
ガラスポットが新登場

CELL EMERALD / AMBER / CLEAR

コルムネア・ビラビータ
ノキシノブ さざ波雲龍
ラゲナンドラ・アマランス



サイズ：Ø170×H300 (mm)
付属品：トロピカルリバーソイル (700mL)、
軽石 (150mL)
価格：¥11,000 (税込)

詳細はこちら

※製造工程上、サイズに若干の誤差があります。



Journey to new origins

まだ見たことのない創造へ

IAPLC 2024

Application period 2024. 4.1 MON — 5.31 FRI

グランプリ賞金 100万円 出品料無料 www.iaplc.com

IAPLC2024 作品応募の流れ

IAPLCへご応募いただく前に、応募規定をよくお読みいただき、同意の上でご応募ください。

- 1 www.iaplc.comへアクセス (PC、スマートフォン、タブレット)
- 2 メールアドレス認証 自動返信メールよりオンライン応募。
- 3 応募情報の入力 レイアウト作品の画像データ (JPG 形式、5MB 以内)
- 4 入力内容の確認 入力された情報に間違いがないかご確認いただけます。
- 5 応募手続き終了 登録されたメールアドレスへ応募完了のご連絡をいたします。

※作品の応募はオンライン応募のみと変更になっております。
ファイル、記録メディア、プリントでの応募はできませんのでご注意ください。

【結果発表】

2024.8.31st Youtube公式チャンネルにて世界同時ライブ配信

IAPLC 2024 アワードセレモニー : 2024.11.23st ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催決定

www.iaplc.com



ADA
aqua design amano